

項目番号	項目名	項目内容等
1	開講年度	平成24年度
2	開講学期	前学期
3	開講学部等	共通教育
4	時間割番号	
5	科目名[英文名]	コミュニケーション英語A [Communication English A]
6	単位数	2
7	担当教員[ローマ字表記]	
8	授業科目区分	
9	対象学生・対象年次	1年生
10	授業題目	コミュニケーション英語A
11	授業のキーワード	コミュニケーション(communication), スピーキング(speaking), スキル(skill), 知識(knowledge)
12	授業の目的	英語を使って情報を入手し、積極的にコミュニケーションを図る能力と態度を身につけることを目的とする。特に、この授業では、自分の考えを明瞭かつ簡潔に表現し、会話や議論に積極的に参加できることを目指す。
13	授業の到達目標	1. 自分の考えを英語で積極的に発信することができる。 2. 自然な発音、イントネーション、リズムで英語を話すことができる。 3. 英語の基本的文法、語法、語彙について理解することができる。 4. 多様なコミュニケーションの根底にある基本構造について、意識的に使いこなすことができる。 5. 身近な話題や関心のある事柄について、英語で自分の考えを伝えることができる。 6. 社会性の高い話題について、英語で意見を述べあうことができる。
14	共通教育の理念・教育方針に関わる項目	2,3
15	授業概要	スピーキング能力およびスキルを身につけることに焦点を当てるが、4技能を結びつけて総合的に英語力を向上させる授業を行う。
16	授業スケジュール	1回目 ガイダンス(授業の目標、進め方、予習・復習などの説明)と Greetings & closings 2回目～14回目 (受講者の理解度にあわせて進度を決める) 2. Conversation Structure 3. Information questions & long answers 4. Listener expressions & taking turns 5. Frequency & duration questions 6. Sequence & linking words 7. Review: the previous classes (1st - 6th Class) 8. Switching tenses 9. Explaining plots & thoughts 10. Negotiating meaning, requests, & responses 11. Giving opinions 12. Agreeing & disagreeing 13. Giving & using suggestions about plans 14. Review: the previous classes (8th - 13th Class) 15回目 期末テストとまとめ 注1) 学期期間中(6月7日(木)5時限/夜間主は7時限)に、英語統一試験としてTOEIC Bridgeを実施します。この試験は、成績評価の20%を占めます。必ず、受験するようにしてください。 注2) 学期中、必要性や理解度に応じて、シラバスに書かれた内容を変更する場合があります。この場合、授業の中で適宜指示します。
17	授業時間外学習にかかわる情報	授業前に学習するユニットの予習を行うこと。授業後に学習したユニットの復習を行うこと。 学期中、E-learningとして、アルクネットアカデミー2(ALC NetAcademy 2)の『初中級コース プラス』に含まれる「TOEIC(R)テスト演習」のユニット01～05を、TOEIC Bridge試験前までに必ず行うこと。 なお、学外からもアクセスできるが、学内では愛大ミュージアム2Fにある語学自習室にて利用することができる。
18	成績評価方法	授業参加:25% 小テスト(課題を含む):15% E-learning:10% 期末テスト:30% TOEIC Bridge:20%
19	受講条件(任意)	(再履修クラスへの条件) 平成19-23年度入学で、「コミュニケーション英語A」未修得の学生 平成13-18年度入学で、「英語B/FB」、「英語C/FC」を未修得の学生 ※「英語A/FA」未修得の学生は、4月9日(月)までに英語教育センター事務室に連絡してください。 注) Web履修登録後、人数調整のため登録クラスが変更される場合があります。4月10日(火)に掲示板にてクラス分けを発表しますので、掲示を確認してから授業に出席して下さい。これによる履修変更手続きは不要です。 【↑この注は夜間主再履修には不要】
20	受講のルール(任意)	1. 授業の参加姿勢も、評価の対象になります。授業活動に積極的に参加することで、授業外での学習成果を実感できます。予習と復習は授業の内容を理解し、学習効果を上げるために必要です。授業中の指示に従い、しっかりと予習・復習をして、積極的に授業に参加するようにしてください。 2. 授業を休んだ場合は、次の授業までに、休んだ回の授業内容をクラスメートに確認し、予習・復習、課題など必要な情報を自分で入手してください。 3. 4回以上欠席した場合は、成績の評価は行いません。単位を取得できなくなりますので、十分注意してください。 4. 遅刻をすると、授業活動への参加が遅れます。授業が始まる前に入室してください。3回遅刻すると、欠席1回分と見なされますから注意してください。30分以上遅れた場合は、欠席と同じ扱いになります。 5. 授業活動は原則として、英語で行われます。積極的に英語を使うようにしてください。 6. 授業中は、携帯電話を切り、私語を慎むようにしてください。
21	教科書	書名: Speaking Focus ISBN: 978-4-7647-3906-2 著者名: Mark Stafford, Neil Heffernan, 松本 広幸, 中山 晃 出版社: 金星堂 初回の授業までに、必ず購入しておいてください。 【再履修クラス向けの追記】 以前の版も同じタイトルであれば使用可。
22	参考書	-
23	教科書・参考書に関する補足情報	
24	オフィシアワー	http://web.eec.ahime-u.ac.jp/officehour.html
25	連絡先	http://web.eec.ahime-u.ac.jp/officehour.html
26	参照ホームページ(任意)	http://web.eec.ahime-u.ac.jp/
27	その他(任意)	